

地域サポーターネットワーク全国協議会によるサポーター支援事業

広島県神石高原町

概要

- 全国で奮闘している「集落支援員」「地域おこし協力隊」などの地域サポーター、受入れ側リーダーなどのネットワークを構築し情報交換、情報発信、スキルアップ研修、交流等行うことにより総合的支援を行う。
- 道の駅を活用し、小規模高齢化集落の魅力発信や産品開発などを行うことにより、地域に小さな経済を創出する。



事業の内容

事業内容

- 地域サポーターネットワーク全国協議会の設立
- 地域サポーターネットワークシンポジウム西日本大会、東日本大会の開催
- 小規模高齢化集落対策に取り組む新しい公共としての「神石高原町源流の里協議会」の設立準備
- 小規模高齢化集落の資源を活用した特産品づくり(小さな経済創出)の可能性を探るため、道の駅(2か所)で試食会、ワークショップなどを実施



ポイント

- 協議会に「サポートセンター」を配置しサポーターや団体に対し専門的な支援を行う。
- メーリングリスト、季刊誌やHPを活用し、会員同士の情報交換、情報発信を行う。



事業の成果

- 両シンポジウムには500名あまりの個人、NPO、自治体などが参加し、交流の上ネットワークの構築を図った。
- 地域サポーターネットワーク全国協議会の会員数は100名を突破(H23年5月)した。
- ネットワークを活用し会員間で交流が活発化している。